

ガッティンナラン！沖縄差別 4.20 集会

「復帰」40年
サンフランシスコ条約60年

日時 **4月20日（金）18:30～20:30**
会場 **全電通労働会館ホール**

住所 東京都千代田区神田駿河台3丁目6
交通 JR線「御茶ノ水駅」聖橋口徒歩4分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B3出口徒歩2分
東京メトロ丸ノ内線「淡路町駅」A5出口徒歩3分

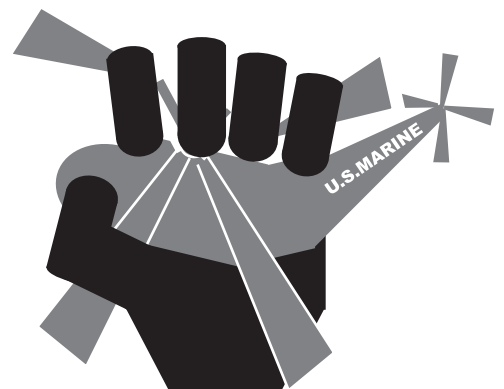
参加費 **500円**

報告 **伊波洋一さん**（元宜野湾市長）
山城博治さん（沖縄平和運動センター事務局長）

沖縄防衛局は昨年末に、辺野古新基地建設にかかわる環境影響評価の評価書を、沖縄県庁に対して強行的に提出しました。本年中にも辺野古沖合の埋め立てを始めようとしています。海兵隊は10月をめどに、MV-22オスプレイを、普天間基地に配備するとしています。たびたび墜落事故を起こし、専門家が機体の構造的な欠陥を指摘しているオスプレイが、宜野湾市の上空を飛ぶことを許してはなりません。東村高江でも、沖縄防衛局はヘリパット建設を強行しようとしています。

今年は沖縄を切り捨てたサンフランシスコ講和条約の発効から60年、まやかしの本土復帰から40年目の年です。基地を押し付けられてきた沖縄の人々の歴史と思いを正確に知ると同時に、沖縄に基地を押し付けてきた本土の責任を自覚して、その上で沖縄—本土の連帯を通して、米軍基地の閉鎖・撤去・返還を実現しなければなりません。

表記の集会を開催します。ぜひ参加してください。



ガッティンナラン…沖縄の言葉で
「許さない」という意味です。

共催

フォーラム平和・人権・環境
沖縄一坪反戦地主会 関東ブロック

電話03-5289-8222